

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	奈良県宇陀市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	宇陀市文化遺産活用推進プラン		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 29 年度		
5 実施計画の概要			
<p>『宇陀市総合計画』（宇陀市 平成20年）では、「地域資源を活かした産業・交流振興のまち」を掲げ、「歴史・文化資源の保全と活用」のなかで、主要施策を（1）文化財の保護・活用、（2）伝統文化の継承、（3）歴史・文化資源の整備と充実、（4）芸術文化活動の振興 を掲げている。</p> <p>（2）伝統文化の継承 では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各地区の歴史や風土のなかで育まれた伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能の保存と育成に努めます。 ●保存会組織の育成、活動支援を推進し、伝統文化の継承と後継者育成を促進します。 ●市内に伝えられる伝統行事や地域の祭り等の新たな魅力づくりによる観光施策との連携を強化します。 <p>（3）歴史・文化資源の整備と充実 のなかにおいても</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国宝の宇太水分神社や室生寺など、地域の歴史・文化資源を活かしながら、個性的で質の高いまちづくりを推進します。 <p>としている。</p> <p>上位計画において、「歴史・文化資源の保全と活用」がうたわれており、本活用計画は、先の上位計画における位置づけに資するものである。なお、『宇陀市総合計画』はURL (https://www.city.uda.nara.jp/kikaku/sougoukeikaku-kouki.html) に掲載されている。</p> <p>地域の文化遺産は、適切な保存継承とともに、地域の活性化等に資する役割が再認識され、その積極的な活用が望まれており、地域の文化遺産を次世代へ伝承していくとともに、記録保存、広報・普及を行うことを目的として下記の事業を実施する。また、事業実施期間中は、下記の事業を通じて地域において文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>地域の文化遺産記録作成事業</p> <p>(1)地域の文化遺産の保存継承等に関する記録作成</p> <p>記録作成は、宇太水分神社・惣社水分神社を中心に、菅原神社、墨坂神社、龍穴神社、篠畑神社のそれぞれの「秋祭り」を対象とし、年次的に撮影・編集等を実施する。</p> <p>平成27年度は、宇太水分神社・惣社水分神社を中心に、菅原神社、墨坂神社で記録作成等を実施した。平成28年度は、宇太水分神社・惣社水分神社、龍穴神社で記録作成を実施した。平成29年度は、篠畑神社での記録作成を計画している。</p> <p>(2)地域の文化遺産の保存継承等に関する記録作成の成果品（平成29年度予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宇陀の秋祭り映像記録（普及編・伝承編・記録編） ②宇陀の秋祭り解説本（普及編） 			
6 実施体制			
<p>宇陀市が本実施計画に係る全体の企画・調整、各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>宇陀市教育委員会事務局文化財課：各補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整等</p> <p>宇陀市役所農林商工部商工観光課：観光業務に関する連携等</p> <p>また、補助事業は、次の団体が実施する。</p> <p>宇陀市文化遺産活性化委員会（委員長：福田裕光）</p> <p>構成団体：惣社水分神社、宇太水分神社、宇陀市、宇陀市教育委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 7,069 千円	平成29年度申請額： 3,873 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域に残る文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承をなすとともに、地域の活性化が期待できる。</p> <p>記録保存することにより、無形民俗文化財が伝承されるために役立つものとなり、その事業成果を公表（報告書、上映会等）することによって、多くの方々に興味や関心をもってもらい、それを大切にするという姿勢を養い、無形民俗文化財に対する理解を高めることができる。秋まつり等の保存会の会員数維持または増加が見込める。</p> <p>また、行政と各地域の無形文化財保持団体、また、団体同士による連携・協力体制を構築することができ、各行事への来訪者数の増加が見込める。『宇陀市総合計画 後期基本計画』（平成25年）では、宇陀市内への観光客数は140万人を目標（平成29年度）としており、その増加に寄与することができる。</p> <p>市内の「秋祭り」のなかでは、宇太水分神社・惣社水分神社の秋祭りの来訪者が最も多く、平成27年の本祭には、約3,000人、平成28年度の本祭には、約4,000人（宇陀市商工観光課推計、目標は2,500人）が当地を訪れ、来訪者が確実に増加してきている。当事業の成果を公表・活用することによって、さらに宇太水分神社・惣社水分神社の秋祭りには、さらに来訪者の増加が見込め、その他の市内の「秋祭り」にも来訪者が増加するものと思われる。</p>			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
「歴史文化基本構想」の策定を検討中（策定時期は未定）	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	宇陀市教育委員会事務局 文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	惣社水分神社渡御保存会の会員数			関連事業:	事業①	
目標値 1 :	平成 27 年度 30 人			⇒	平成 29 年度 34 人	
設定根拠 1 :	地域住民の惣社水分神社渡御保存会練習見学状況					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	人	人	人
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	宇太水分神社・惣社水分神社の秋祭り来訪者			関連事業:	事業①	
目標値 2 :	平成 25 年度 2,000 人			⇒	平成 29 年度 4,000 人	
設定根拠 2 :	平成25年度から平成29年度まで、毎年500人増と設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
人	人	人	人	人	人	人

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	地域の文化遺産記録作成事業	実施団体：	宇陀市文化遺産活性化委員会				
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 27 年度	～	平成 29 年度		
事業概要：	宇陀市内の「秋祭り」の記録作成を行い、市内の各地に伝承されてきた無形民俗文化財の保護対策を講じるため、保存継承等に関する記録作成を行う。						
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	惣社水分神社渡御保存会の会員数						
目標値：	平成 27 年度	30 名	⇒	平成 29 年度	34 名		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	名		名	名	名	名	名